

一般国道455号「北山バイパス」が全線開通しました！！

～盛岡市内の慢性的な渋滞が緩和、県立中央病院等医療機関などへのアクセスが改善～

道路建設課
盛岡地方振興局土木部

平成 21 年 10 月 26 日（月）、「北山トンネル」を含む一般国道 455 号『北山バイパス』の 1.4km 区間が開通し、昭和 59 年度の事業着手以来、約 26 年の歳月をかけて事業を進めてきた全区間 7.5km（盛岡市北山の国道 4 号から同市米内まで）が開通しました。

開通に先立ち、現地で開通式典を行い、県、市などの関係者や地元住民など、たくさんの人々が『北山バイパス』の開通を祝いました。

先月号では、『北山バイパス』の事業概要を紹介したところですが、今月号では、約 26 年という長期間に渡った本事業のこれまでの沿革や、開通式の様子などをご紹介します。

【事業目的】

（1）慢性的な渋滞の緩和

一般国道 455 号の三ツ割～盛岡市中心部間で、朝夕に発生している慢性的な交通渋滞の緩和

（2）医療機関へのアクセス改善

岩泉・松園方面から、県立中央病院等医療施設へのアクセス改善

朝の慢性的な渋滞（開通前）
国道 455 号 長瀬バス停付近



【事業の沿革】

S59	事業化
S60.11	「主要地方道盛岡岩泉線北山工区整備計画に関する調査委員会」を設置
H元.9.29	梨木町上米内線として都市計画道路決定
H5	主要地方道盛岡岩泉線が国道 455 号に昇格
H6.3	洞清水から三ツ割まで 2.3km 供用（4車線）
H11.3	三ツ割から米内まで 3.8km 供用（2車線）
H14.2.24	用地補償契約締結式
H16.3	北山トンネル本体工着手
H18.7.26	下り線貫通
H18.11.22	上り線貫通
H19.7.12	北山トンネル本体工完成
H21.10.26	北山トンネルを含む区間 1.4km 供用

北山トンネル貫通式（H18.12.13）



【開通前のイベント等】

- ◆ 平成 21 年 10 月 15 日（木） 第 1 回北山バイパス整備効果検証委員会
整備効果の検証、開通後の道路利用上の観点から意見・提案をいただく委員会を開催（今後 2 回開催予定）
- ◆ 平成 21 年 10 月 18 日（日） 北山トンネルウォーク
地域住民の方々約 700 名が参加
- ◆ 平成 21 年 10 月 20 日（火） 防災訓練
消防署・警察署・盛岡地方振興局土木部・盛岡市など約 60 名が参加し車両事故を想定した訓練を実施

第 1 回整備効果検証委員会



北山トンネルウォーク



防災訓練



【開通式】

開通式典は、秋雨の降りしきる中、午後 1 時から北山トンネル三ツ割側坑口付近で行われ、宮舘副知事、谷藤盛岡市長ら関係者約 200 名が出席し、完成を祝うテープカット、くす玉開被や、盛岡市立上田中学校のブラスバンドによる演奏の中、通り初めパレードを行いました。



沿道には、地元住民の方々も多数駆けつけていただき、『北山バイパス』への期待の大きさを実感しました。

開通式の中で主催者を代表し、宮舘副知事が「一般国道 455 号は、広域圏の交流を支える重要な幹線道路で、北山トンネルの開通により渋滞解消や中央病院など医療機関へのアクセス向上、沿岸観光地への誘客や農林水産物の物流促進など産業の振興を支える道路として期待される。県は、今後とも安全で安心な生活を支える道路づくりを推進したい。」と式辞を述べました。また、谷藤盛岡市長は「長年の念願である開通はこの上ない喜びであり、渋滞解消、交通の円滑化、利用機関へのアクセス改善は市のさらなる発展に寄与する。」と悲願達成を喜びました。



式辞を述べる宮舘壽喜副知事



式辞を述べる谷藤裕明盛岡市長



盛岡市立上田中学校のブラスバンドによる演奏



供用開始後の状況

【おわりに】

『北山バイパス』は、昭和 59 年度の事業着手以来、用地取得の難航や、脆弱な地質によるトンネル難工事などで、約 26 年の長い歳月と総事業費約 196 億円（内、北山トンネルの工事費約 99 億円）を要しましたが、この度、無事に開通することが出来ました。また、北山トンネルは、2車線のトンネルを 2 本併設する構造であり、岩手県が管理する道路トンネルでは初めての構造となります。

今回の開通により、国道 455 号の盛岡市三ツ割から市中心部間で発生している朝夕の渋滞や、周辺道路の渋滞が緩和し、県立中央病院等の医療機関や市内中心部等へのアクセス向上による交通の円滑化が図られました。